

南アルプスユネスコエコパーク  
管理運営計画（静岡市域版）  
実行計画 年次報告書（平成28年度）



平成29年11月

静岡市

## 《目 次》

1	はじめに	1
2	評価指標の状況	2
3	平成28年度の実施内容	3
	1 自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）	3
	2 調査と教育（学術的研究支援の機能）	9
	3 地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）	17
	4 理念の継承と管理運営体制の構築 （3つの機能を支える連携機能）	31
4	関連組織の活動状況	33
5	モニタリング実施状況	39
6	実行計画 総合分析	48

## 1 はじめに

この年次報告書は、「南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）実行計画」（以下、「実行計画」という。）に掲載した事業の進捗を把握し、適切な見直しを行うとともに、市民をはじめとした多くの方に、本市における南アルプスユネスコエコパークの取組をお知らせするために発行するものです。



南アルプス夏山開き



ライチョウサポーター養成講座

## 2 評価指標の状況

本市では、南アルプスユネスコエコパークの取組を推進するにあたり、4つの基本方針の柱を掲げています。

実行計画では、この柱に基づき実施する事業の評価指標を掲げており、その進捗を次に示します。

【凡例】◎：達成済み ○：達成見込み △：要調整 ×：達成困難 -：中止

基本方針の柱	評価指標・平成30年度目標値	進捗状況			
		27年度	28年度	29年度	30年度
自然環境の保全	南アルプスの自然への関心度 (★) 48% (平成27年度) → 54%	48% 基準年度	69% ○		
	ライチョウが市内に生息していることを知っている人の割合 (★) 18% (平成27年度) → 24%	18% 基準年度	44% ○		
	南アルプス主要地域の高山植物種数 15種 (平成25年度) → 15種	31種(14種) ○	35種(14種) ○		
調査と教育	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用学校の南アルプスユネスコエコパークの認知度 利用校の約6割が80%以上 (平成27年度) → 全校80%以上	利用校の約6割が80%以上 基準年度	利用校の約8割が80%以上 ○		
	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用学校教員のユネスコエコパークの理念の認知度 76% (平成27年度) → 100%	76% 基準年度	86% ○		
	自然体験活動等指導者数 6人/年 (平成27年度) → 10人/年	6人/年 基準年度	8人/年 ○		
地域の持続的な発展	井川地域を訪れてみたいと思う人の割合 (★) 81% (平成27年度) → 84%	81% 基準年度	91% ○		
	南アルプスに登ってみたいと思う人の割合 (★) 53% (平成27年度) → 56%	53% 基準年度	80% ○		
	井川地域内施設入込客数 160.3千人 (平成25年度) → 168.3千人	137.1千人 ○	151.1千人 ○		
運営体制 理念の継承と管理	南アルプスユネスコエコパークの認知度 (★) 51% (平成27年度) → 54%	51% 基準年度	48% △		

※★印は平成27年度市政アンケート調査により把握した指標。平成30年度に再度市政アンケート調査を実施予定。平成28、29年度については各種イベント等でのアンケート結果を参考数値として記載。

※高山植物種数 ( ) 内数は基準年度に確認された15種のうち確認した種数。基準年度と同時期に調査を行っているが、調査時に未発芽などの理由で確認できない可能性があることを考慮し評価した。

※井川地域内施設入込客数については、平成29年3月の大井川鐵道井川線の再開を考慮し評価した。

### 3 平成28年度の取組内容

#### 1 自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）

##### （1）南アルプスの自然環境の保全

南アルプスの自然環境の保全を進めるうえでの考え方を示している項目であるため、個別事業は掲載していません。

##### （2）つながりを意識した一体的な保全

###### 1）連携・協働体制の強化

【組織No.6】南アルプス高山植物等保全対策連絡会 P34参照

【組織No.7】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会 P34参照

【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（旧南アルプス世界自然遺産登録推進協議会） P35参照

##### 2）来訪者のルール作りと啓発活動の推進

【事業No.18】静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業

###### ① ホームページによる啓発

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に関する情報（条例制定の目的、適用を受ける林道、通行許可に関する情報、禁止行為、通行規制等）を静岡市ホームページに掲載し、条例の啓発を行った。

利用者の利便性を高めるため、ホームページに条文、林道地図、通行許可に係る審査基準、林道規制情報等のリンクを貼り、関連する情報に容易にアクセスすることができるようにした。

また、林道規制情報は、冬季閉鎖終了後速やかに情報を更新し、利用者に最新の通行情報を提供した。

URL : [http://www.city.shizuoka.jp/136\\_000008.html](http://www.city.shizuoka.jp/136_000008.html)

###### ② 現地への標識設置による啓発

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内の林道標識で条例の啓発事項を加えた標識（18箇所）について、定期的な点検などの維持管理を実施した。

また、林道東俣線についても、通行許可が必要な旨及び条例で禁止されている行為に関する標識を定期的に点検し、条例の普及啓発を図った。

## 【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（再掲）

### （3）高山帯から山麓に広がる自然環境の保全

#### 1）高山植物の保護に向けた取組の推進

##### 【事業No.13】高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

#### ① 防鹿柵の設置・維持管理

ニホンジカの食害等から高山植物を保護するため、防鹿柵の立上、養生撤去、維持管理等を行った。

##### [平成28年度設置場所]

- ・中岳避難小屋周辺（クロユリ群生地）  
約189m<sup>2</sup>（既存）
- ・千枚小屋周辺（オオサクラソウ生育地）  
約6,667m<sup>2</sup>（既存）
- ・熊ノ平小屋周辺 ※試験設置  
約1.92m<sup>2</sup>（新規）



クロユリ



オオサクラソウ



防鹿柵の設置状況

#### ② 自動撮影カメラの設置

ニホンジカの生息状況を調査するため、中岳避難小屋周辺防鹿柵及び千枚小屋周辺防鹿柵の周辺に自動撮影カメラを設置した。

#### ③ 高山植物保護セミナーの開催

高山植物保護に取り組む人材の育成、環境保護意識の向上のため、市内高等学校の山岳部・登山部員を対象に、ニホンジカによる高山植物への食害を学ぶとともに、高山植物保護活動を体験するセミナーを開催している。

平成28年度は、日程を3回に分けて高等学校ごとに実施し、千枚小屋周辺等の植生調査や、防鹿柵の養生撤去等を行った。



高山植物保護セミナー



### [セミナー概要]

開催日：平成28年7月25日（月）～26日（火）：静岡東高校登山部  
平成28年8月18日（木）～19日（金）：静岡高校山岳部  
平成28年9月24日（土）～25日（日）：清水東高校山岳部

場所：千枚小屋周辺等

参加者数：3校24人

### [過去の開催状況]

平成27年度 3校23人参加（座学のみ）

平成26年度 5校28人参加（2泊3日）

平成25年度 3校16人参加（2泊3日）

## 【組織No.6】南アルプス高山植物等保全対策連絡会（再掲）

### 2) ライチョウの保護に向けた取組の推進

#### 【事業No.14】ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

##### ① ライチョウの生息状況把握調査

環境省が策定したライチョウ保護増殖事業計画（以下、「増殖計画」）では、ライチョウの生息環境を圧迫している推定要因がいくつか挙げられているが、その要因の特定は現時点で困難とされている。また、増殖計画では、今後の調査分析により、その要因を明らかにすることが目標のひとつとされていることから、調査期間内における生息地の実態把握を目的とし、ライチョウ生息・繁殖状況の現地調査及び生息環境圧迫要因調査として、ライチョウを捕食している可能性がある生物に係る文献調査や現地調査による生息状況調査を行った。

調査結果の概要については、P41「5（2）モニタリングの概要」を参照

##### ② 普及啓発事業

#### ア) 南アルプスライチョウサポーター養成講座の開催

ライチョウの生息状況を登山者等と継続的に調査する仕組みを登録地域全体で構築するため、南アルプス関連10市町村で組織する南アルプス自然環境保全活用連携協議会で要項を設置の上、各自治体において、調査能力を持った登山者を養成する講座を開催し、参加者を「ライチョウサポーター」に認定した。

#### [静岡会場]

開催日：平成28年6月25日（土）

会場：アイセル21

参加者数：72人

[首都圏会場]

開催日：平成28年6月26日（日）

会場：東京都渋谷区

参加者数：44人

[静岡会場（追加）]

開催日：平成28年12月3日（土）

会場：城東保健福祉センター

参加者数：63人

その他山梨会場、長野会場と合わせて講座を5回開催。計353名をライチョウサポーターに認定し、36件の発見情報が寄せられた。また、希望者約270名へのメール配信を10回実施した。

### イ) パネル展等の実施

ライチョウの普及啓発を図るため、パネル展等による情報の発信等を実施した。

[ライチョウ展]

開催日：平成28年7月15日（金）～29日（金）

会場：三井住友信託銀行静岡支店

この他に、南アルプス関連イベントを9回開催しその中でライチョウについて周知した。

[サイエンスピクニック2017ブース出展]

開催日：平成29年2月4日（木）～5日（金）

会場：静岡科学館る・く・る

来場者数：約350人



サイエンスピクニック2017

### 3) 自然環境の保全と生態系バランスを考慮した保全手法の検討・実施

#### 【事業No.10】南アルプス環境調査

南アルプス地域内における中央新幹線建設事業の実施に伴う環境変化を把握するため、南アルプスユネスコエコパーク登録地域及びその周辺地域において現在の自然環境の状況等を調査し、その結果を公表した。

調査結果の概要については、P41「5（2）モニタリングの概要」を参照

[調査項目]

大気質、騒音・振動、水質、動植物、植生、水資源

[調査結果公表HP]

[http://www.city.shizuoka.jp/041\\_000081\\_00004.html](http://www.city.shizuoka.jp/041_000081_00004.html)



【事業No.13】 高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.14】 ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【組織No.6】 南アルプス高山植物等保全対策連絡会（再掲）

【組織No.7】 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）

【組織No.8】 静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会 P 35参照

#### 4) 自然景観への配慮

【事業No.10】 南アルプス環境調査（再掲）

【事業No.13】 高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【組織No.4】 静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会 P 34参照

【組織No.5】 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 P 34参照

#### 5) 新たな開発等への対応

【事業No.10】 南アルプス環境調査（再掲）

【事業No.18】 静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業（再掲）

【事業No.19】 南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理

##### ① 林道管理

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に基づき、南アルプスユネスコエコパーク登録地域内の林道18路線を適正に管理する目的で、林道の路面や法面の状況及びガードレール、カーブミラー、橋梁等の施設の状況を点検するためのパトロール業務を実施した。

##### ② ゲート管理

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に基づく通行許可が必要な林道東俣線の通行車両を適正に管理するため、全ての車両について、起点ゲートにおける通行車両の管理（許可の有無の確認、緊急車両の出入管理、夜間の施錠等）を実施し、併せて冬期閉鎖期間中のゲートの施錠の点検等を実施した。

また、夜間や冬期閉鎖期間のゲート管理を徹底するため、許可を得て夜間・冬季

に通行する車両を把握できるよう、ゲートにポストを設置し、入退場時に通行カードを投函させる運用を開始した。

【組織No. 2】 静岡県中央新幹線工事調整連絡会 P 33参照

【組織No. 3】 静岡市中央新幹線整備対策本部 P 33参照

【組織No. 4】 静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会（再掲）

【組織No. 5】 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議（再掲）

## 2 調査と教育（学術的研究支援の機能）

### （1）自然や文化を学び、心を育てる環境整備

#### 1）南アルプス教育の推進

【事業No.14】ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.17】南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

##### ① 教育教材の貸出・配布

- ・市内小中学校へ南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオを貸し出した。  
貸出件数：6件 使用目的：井川自然の家利用事前学習、事後学習等
- ・昨年度製作したライチョウ親子模型、ライチョウパネル及び南アルプス・井川地域ジオラマを普及啓発事業（ブース出展、展示等）において活用した。
- ・社会科副読本「しずおかだいすき」の南アルプスに関する内容の改訂を行った。
- ・市内全小学4年生を対象に、環境学習ハンドブック「南アルプスの大自然」を配布した。
- ・南アルプスユネスコエコパーク学習出前授業を実施した。

日時：平成28年6月24日（金）場所：伝馬町小学校

日時：平成29年2月8日（水）場所：番町小学校



南アルプスユネスコエコパーク学習出前授業

##### ② 南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオの手引書の作成

小中学校において南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオを活用した学習を取り入れてもらうため、南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオを利用する教員向けに、授業の進め方や学習に必要な資料等を示した「南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオの手引書」を作成した。

##### ③ 教員等研修の実施

静岡市環境学習指導員等を対象とした環境教育スキルアップ研修会を実施した。

日時：平成28年11月12日（土）～13日（日）

場所：南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家

【事業No.21】南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業

井川地区で実施するツアーとしての可能性調査を目的として、ガイドが案内するまち歩きに加え、地域の他の魅力を盛り込んだ「まち歩きモニターツアー」を実施し、参加者から意見を聴取した。

[1回目]

日 時：平成29年3月11日（土）～12日（日）  
会 場：葵区井川（南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家及び井川本村）  
内 容：1日目 雑穀もち作り体験、つる細工体験、井川神楽鑑賞、星空観察  
2日目 井川本村まち歩き  
参加者：14名

[2回目]

日 時：平成29年3月18日（土）～19日（日）  
会 場：葵区井川（南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家及び井川本村）  
行 程：1日目 アプト列車体験、井川本村まち歩き、井川神楽鑑賞、  
星空観察  
2日目 井川自然の家周辺のガイドハイク、雑穀もち作り体験、  
つる細工体験  
参加者：23名

**【事業No.37】 自然体験活動指導者育成講座**

自然体験活動を推進できる人材を育成するため、井川自然の家にて各種講習会を開催し、受講者を自然体験活動指導者として認定した。

また、希望者は、静岡市環境学習指導員や静岡県初級青少年指導者の資格もあわせて取得した。

**【講座内容】**

- ・南アルプスユネスコエコパーク学習会
- ・救急救命講習
- ・ネイチャーゲーム、ガイドハイク、ナイトハイク、  
自炊活動、テント張り
- ・活動プログラムの立案 等

[認定指導者数] 8名（過年度受講生2名含む）



ガイドハイク

**【事業No.38】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業**

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家を中心とした地域資源の魅力を伝えるため、小中学生や家族を対象とした各種イベントや、交通手段の検証事業として無料送迎バス付き事業を開催した。

① 小中学生対象

**【トム・ソーヤスプリングキャンプ】**

開 催 日：平成28年5月14日（土）～15日（日） トム・ソーヤスプリングキャンプ  
募集人数：72人 応募者数：138人（応募率：191%）  
参加人数：68人



**[トム・ソーヤサマーキャンプ]**

開催日：平成28年8月9日（火）～12日（金）  
募集人数：36人 応募者数：82人（応募率：227%）  
参加人数：36人

**[トム・ソーヤオータムキャンプ]**

開催日：平成28年10月1日（土）～2日（日）  
募集人数：90人 応募者数：129人（応募率：143%）  
参加人数：88人

**[トム・ソーヤスキーキャンプ1月]**

開催日：平成29年1月7日（土）～9日（日）  
募集人数：40人 応募者数：71人（応募率：177%）  
参加人数：39人

**[トム・ソーヤウインターキャンプ1月]**

開催日：平成29年1月21日（土）～22日（日）  
募集人数：54人 応募者数：130人（応募率：240%）  
参加人数：54人

**[トム・ソーヤスキーキャンプ2月]**

開催日：平成29年2月18日（土）～19日（日）  
募集人数：40人 応募者数：54人（応募率：135%）  
参加人数：40人

**[トム・ソーヤウインターキャンプ2月]**

開催日：平成29年2月25日（土）～26日（日）  
募集人数：54人 応募者数：111人（応募率：205%）  
参加人数：52人



トム・ソーヤサマーキャンプ

**② 家族・グループ対象**

**[井川de山菜グルメ]**

開催日：平成28年4月30日（土）～5月1日（日）  
募集組数：14組 応募組数：30組（応募率：214%）  
参加人数：14組



井川de山菜グルメ

**[井川deバーベキュー]**

開催日：平成28年6月4日（土）～5日（日）  
募集組数：14組 応募組数：17組（応募率：121%）  
参加人数：8組



井川deバーベキュー

**[井川deキャンプ入門]**

開催日：平成28年7月16日（土）～17日（日）  
募集組数：14組 応募組数：41組（応募率：292%）  
参加人数：14組

**[井川de在来作物体験]**

開催日：平成28年9月17日（土）～18日（日）  
募集組数：14組 応募組数：11組（応募率：78%）  
参加人数：10組

**[井川de紅葉狩り]**

開催日：平成28年11月5日（土）～6日（日）  
募集組数：14組 応募組数：22組（応募率：157%）  
参加人数：13組

**[井川de温泉めぐり]**

開催日：平成28年11月19日（土）～20日（日）  
募集組数：14組 応募組数：24組（応募率：171%）  
参加人数：13組

**[井川deクリスマス]**

開催日：平成28年12月3日（土）～4日（日）  
募集組数：10組 応募組数：15組（応募率：150%）  
参加人数：10組

**③ 無料送迎バス付事業**

**[SL千頭駅から始まる秋の井川の旅①]**

開催日：平成28年10月22日（土）～23日（日）  
募集人数：20人 応募者数：24人（応募率：120%）  
参加人数：19人

**[SL千頭駅から始まる秋の井川の旅②]**

開催日：平成28年11月12日（土）～13日（日）  
募集人数：20人 応募者数：23人（応募率：115%）  
参加人数：13人

**[井川deスキー&雪遊び①～③]**

開催日：平成29年1月14日（土）～15日（日）  
28日（土）～29日（日）  
2月4日（土）～5日（日）  
募集人数：60人 応募者数：253人（応募率：421%）  
参加人数：114人

**[井川deスキー&雪遊び④～⑤]**

開催日：平成29年2月11日（土）～12日（日）  
3月4日（土）～5日（日）  
募集人数：40人 応募者数：210人（応募率：525%）  
参加人数：35人



### 【事業No.39】 学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供

南アルプスユネスコエコパークの大自然の中で、自然の素晴らしさを感じさせるとともに、学校目標やクラス目標の達成のため、井川自然の家と学校で協力して事業を実施した。

小中学校の野外活動、宿泊訓練を受け入れ、地域資源を活用した体験プログラム等を提供した。

#### ① 南アルプスユネスコエコパーク学習会

講師又は所員が、学校や主催事業で学習会を実施した。また、利用学校には入所のあいさつで南アルプスユネスコエコパークについての話をした。

#### ② 命をいただく学習（あまごの串焼き体験）

主に小中学校のプログラムとして実施した。また、あまごをさばく前に所員により、命をいただく話をした。

#### ③ エコクッキング

利用学校に対して炊飯活動前に節水や自然保護などの話をした。

#### ④ ウォークラリー、ハイキング、ナイトハイク等

利用学校との事前打ち合わせなどで、クラス目標や自然体験目標等をどのようにするか提案を行った。また、ハイキングコース利用時は、指導者や引率者に下見をさせ、安全確認を行うよう指導した。

### 【事業No.42】 社会科副読本との連携

平成28年度中に平成29年度版小学校社会科副読本改訂委員会を開催（年4回）し、内容検討、執筆を行った。平成28年度版より掲載したオクシズ及び南アルプスユネスコエコパークに関する内容について、使用する写真やイラスト等の見直しを行い、発行した。

## 2) 体験教育（修学旅行等）や合宿、企業研修の誘致、受入体制の確立

### 【事業No.5】 静岡型体験観光推進事業

#### ① 教育旅行誘致活動

台湾の教育旅行関係者を対象とした説明会や、首都圏などの学校訪問による誘致活動を官民連携のもと実施した。

#### ② 体験プログラムの開発

静岡市街地から井川地域までを含めた新しい静岡型体験旅行プログラムを開発し、それらを掲載した冊子を作成した。

**【事業No.39】 学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供  
(再掲)**

**【事業No.40】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動**

**① パンフレット作成**

パンフレットを25,000部作成し、市内小中学校、高等学校、生涯学習施設、東京事務所、主催事業参加者、施設利用校、スポーツショップ等へ配布した。

**② ポスター作成**

ポスターを2,000部作成し、市内小中学校、静岡鉄道（駅広告、電車、バス内広告）等へ配架した。

**③ リピーター獲得のPR**

利用者に対して、井川自然の家の年間事業の案内などを配布し、リピーターとして次回も使用してもらえるよう声掛けをした。

**④ 静岡観光大商談会in東京及び名古屋参加**

首都圏及び近隣県旅行会社に対して、井川自然の家のPRを実施し、県外への情報発信を行った。

**⑤ フェイスブックページの立ち上げ**

井川自然の家のフェイスブックページを立ち上げ、情報発信している。

**3) 教育拠点の整備・充実と効果的な活用**

**【事業No.12】 静岡市次世代エネルギーパーク**

**① 普及啓発**

各種広報媒体を活用して静岡市次世代エネルギーパークを広報し、次世代エネルギーに関する普及啓発を行った。

**② 活用推進**

静岡市地球温暖化対策情報サイト『つなごうしずおか』の充実を図った。

**【南アルプスユネスコエコパークの次世代エネルギーパーク関連施設】**

- ・ 静岡市南アルプス赤石温泉「白樺荘」（バイオマス熱利用）
- ・ 中部電力井川展示館（水力発電）
- ・ 井川発電所／井川ダム（水力発電）
- ・ 畑薙第一発電所／畑薙第一ダム（水力発電）

**【事業No.20】 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターの整備・活用**

平成27年度にリニューアルオープンした南アルプスユネスコエコパーク井川ビジ

ターセンターにおける情報発信を行った。

① 井川コレクションウォール

井川メンパや在来作物などの井川の特産品を季節に応じて展示した。

② 南アルプスジオラマ

南アルプスの起伏などを感じられる4万分の1スケールのジオラマを設置した。  
また、静岡市域における中央新幹線の計画ルートも示した。

③ デジタルガイドブック

専用端末で井川地区及び南アルプスを映像等により紹介した。

④ 南アルプスクロスロード

南アルプスユネスコエコパークについて基礎から学べるトンネル状の展示物を整備した。

## (2) モニタリングの実施と情報の集約

### 1) モニタリングの実施

#### 【事業No.7】井川地域における食文化調査事業

平成26年度～27年度に実施した食文化調査を実施報告書にまとめた。  
調査結果は、「オクシズ在来作物のブランド化推進の一環として、「オクシズ在来作物紀行—風景を味わう—」に掲載した。

#### 【事業No.8】井川地域の雑穀文化保存活用事業

##### ① 保存事業

地元住民と若手移住者を中心とした有志の地域団体「結の仲間」により、消滅の危機から復活した「ケビエ」などを含む在来作物の安定的な栽培を継続させた。  
また、今後も「結の仲間」を中心として継続的に栽培が行われることを確認した。  
地元住民等とともに「焼畑」を実施し、地域の若い世代へ伝統的農法を伝承した。  
また、井川中学校「伝統農法を学ぶ授業」にて、焼畑の歴史・手法等を教授した。

##### ② 雑穀の新たな普及・活用事業

「オクシズ在来市場」や「しずまえ・オクシズ祭」等にて、在来作物を使った食品を紹介し、在来作物の認知度向上と普及につなげた。

#### 【事業No.10】南アルプス環境調査（再掲）

#### 【事業No.13】高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

#### 【事業No.14】ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

#### 【組織No.8】静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会（再掲）

2) 産官学民の連携によるモニタリング体制の構築

【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（再掲）

【組織No.10】オクシズ在来作物連絡協議会

P 38参照

3) 自然や文化に関わる情報の集約と活用

【事業No.7】井川地域における食文化調査事業（再掲）

【事業No.8】井川地域の雑穀文化保存活用事業（再掲）

【組織No.8】静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会（再掲）

### 3 地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）

#### （1）地域の魅力の磨き上げと地域振興

##### 1）地域資源のブランド化と販路開拓の支援

###### 【事業No.4】 葵区魅力づくり事業 ー地域住民の自立促進事業ー

地域住民が自主的かつ主体的に実施する地域プロモーションについて、地域住民に協力する団体の参画を促進し、住民主体のまちづくりを推進した。

###### ① 区民交流事業の実施

地域の文化・歴史・自然等の地域資源や特色を生かした活動を地域住民とともに協働で実施、支援することで、地域住民活動の活性化を図った。

###### [区民交流事業「山伏トレッキング&エコパーク体験」]

開催日：平成28年8月6日（土）～7日（日）

参加者数：58人 地域参画団体：6団体

###### ② 地域の課題解決提案事業の実施

地域の団体が実施する課題の解決に向けた取組を支援することで、地域の団体が自主的かつ主体的に地域プロモーションを実施していくための環境づくりを推進した。

###### [地域の課題解決提案事業「井川てしゃまんく音楽祭&エコパーク体験」]

開催日：平成28年8月27日（土）～28日（日）

参加者数：13人 地域参画団体：11団体

###### ③ 地域活動参加促進事業「葵トラベラー」の実施

地域の団体が主体的に実施する活動に、葵区が参加者を募るなどして市民の参加を促進し、地域の団体が自主的かつ主体的に地域プロモーションを実施していくための環境づくりを推進した。

###### [葵トラベラー井川編「井川のそば打ち体験&散策」]

開催日：平成28年5月8日（日）

参加者数：25人 地域参画団体：4団体

###### [葵トラベラー井川編「山の日ハイキング&赤石温泉」]

開催日：平成28年8月11日（木・祝）

参加者数：75人 地域参画団体：3団体

###### [葵トラベラー井川編「もみじノルディック」]

開催日：平成28年10月22日（土）

参加者数：19人 地域参画団体：4団体

###### [葵トラベラー井川編「もみじマラソン」]

開催日：平成28年10月30日（日）

参加者数：105人 地域参画団体：2団体

## 【事業No.25】 オクシズ在来作物活用事業

### ① 在来作物の検証

在来作物の所在の把握や成分を調査するための在来作物調査事業を行った。  
また、カタログ「オクシズ在来作物紀行—風景を味わう—」（A 4 版20頁）  
を3,000部発行した。

### ② マルシェの開催

[オクシズ在来市場]

開催日：平成28年10月1日（土）～2日（日）

会場：静岡浅間神社

[しずまえ・オクシズまつり]（在来蕎麦のPR）

開催日：平成28年10月16日（日）

会場：青葉緑地

### ③ 在来作物啓発事業

[オクシズ在来作物シンポジウム]

開催日：平成29年3月20日（月・祝）

会場：安倍ごころ

内容：基調講演「伝統農法・焼畑のゆくえ」、焼畑蕎麦の試食、  
パネルディスカッション、パネル展示

[オクシズ在来作物連絡協議会]

開催日：平成28年6月6日（月）

平成28年9月16日（金）

## 【事業No.26】 地域おこし協力隊配置事業

### ① 地域おこし協力隊の配置

井川地区において、平成29年1月1日に1名配置した。

### ② 地域おこし協力隊用住宅整備事業

地域おこし協力隊用住居の確保及び住宅修繕事業（3戸）を実施した。

### ③ 地域おこし協力隊支援事業補助金

地域おこし協力隊の活動を支援する団体に対し、補助金を交付した。

## 【事業No.27】 おらんとこのこれ一番事業

住民自らが考えた、地域の資源を生かして取り組む振興事業に対して補助金を交付し、特色ある地域の魅力を磨くための支援を行った。



## [実績]

- ・両河内地区 両河内の宝みがき！まるごと“手わざ体験ランド”化プロジェクト
- ・清沢地区 清沢式 食と花のむらづくり事業
- ・玉川地区 食でつながるコミュニティー IN 玉川

## 【事業No.5】静岡型体験観光推進事業（再掲）

## 【事業No.16】静岡市MORIガールプロジェクト（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

南アルプス・井川地域の自然、歴史、伝統文化など、当該地域に潜在している魅力を掘り起こし、F1世代と呼ばれる20歳から34歳までの女性（F1層）をターゲットに広く情報発信した。

### ① ホームページによる情報発信（SNSの活用）

平成27年度に開設したホームページ“南アルプスde深呼吸「南プス」”にて、井川地域の施設情報や暮らしの魅力などを発信した。

U R L : <http://nanpusu.jp/index.html>

運営期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

閲覧数：93,600PV（ページビュー）

### ② 井川地域の魅力発見

#### ア) 女子旅レポート

女性モデルによる体験取材を行い、取材の様子を「女子旅レポート」としてホームページに掲載した。

取材回数：2回（2コースを公開）

U R L : <http://nanpusu.jp/report/index.html>

女子旅レポート



#### イ) 女子旅バスツアー、写真展示会

井川地域をフィールドとした女性モデルによる写真講座の開催と、講座で撮影した写真を活用した展示会を市街地で開催し、女子旅レポート特別編としてホームページに掲載した。

写真講座：平成28年9月10日（土）～11日（日）（17人参加）

展示会：平成28年11月15日（火）～22日（火）

（アピタ静岡店2階連絡通路）

U R L : <http://nanpusu.jp/report/index.html>

#### ウ) 空撮動画の制作

ドローンで南アルプス高山域を撮影した動画を3本制作し、動画一覧ページに掲載した。

- ・丸山からの風景
- ・晩夏の荒川前岳
- ・樫島ロッヂ

③ 南アルプスユネスコエコパークのイメージソングによる普及啓発

静岡県内出身の歌手「yosu」作詞・作曲のイメージソングをホームページにて配信した。

【事業No.21】南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業（再掲）

【事業No.22】南アルプス周辺登山道整備事業

① 吊橋及び新規ルート整備

- ・吊橋架橋（樫島～千枚岳ルート上）に係る詳細設計業務を実施した。
- ・吊橋架橋に係る管理者（河川管理者・林道管理者）との協議を実施した。
- ・新規登山道ルートの調査を実施した。

② 既存登山道の整備

- ・崩落箇所等の登山道危険箇所の修繕を実施した。

【事業No.25】オクシズ在来作物活用事業（再掲）

【事業No.38】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業（再掲）

【事業No.40】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動（再掲）

3) 積極的な情報発信

【事業No.1】移住希望者向け情報発信事業

① 移住支援センターを中心とした首都圏プロモーション

センターに相談員を常駐させるとともに、移住相談会等を開催し、移住希望者へ移住情報を発信した。

相談件数：391組

相談人数：492人



移住支援センター

② ホームページによる情報発信

静岡市の移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」により移住情報や本市の魅力を発信し、移住を促進した。

URL：<http://shizuoka-seikatsu.jp/>



移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」

### ③ パンフレットの作成・配布

移住に関する情報を掲載したパンフレットを作成し、配布した。

## 【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

### ① 南アルプスユネスコエコパーク構成市町村との連携による情報発信

#### ア) 大井川鐵道きかんしゃトーマス運行イベントでの普及啓発品配布

実施日：平成28年8月12日（金）、8月26日（金）

会 場：大井川鐵道千頭駅（川根本町）

#### イ) 奥大井ふるさと祭りブース出展

開催日：平成28年11月12日（土）

会 場：音戯の郷前特設会場（川根本町）



きかんしゃトーマス運行イベント

### ② 市内・県内における情報発信

#### ア) 広報しずおか「静岡気分」への情報掲載

掲載号：8月号

内 容：南アルプスを知ろう

#### イ) 静岡鉄道新型車両サイネージ広告及び電車・バス・駅構内への南アルプスユネスコエコパーク広告掲出

実施期間：平成28年5月～11月

#### ウ) すろ～かる（フリーマガジン）5月号への南アルプスユネスコエコパーク特集記事掲載

#### エ) 第2384回関東・中部・東北自治宝くじ「南アルプスユネスコエコパーク」図柄宝くじ発売

期間：平成28年6月4日（土）～21日（火）

#### オ) 市内公共施設及び民間企業との連携による南アルプスユネスコエコパークの魅力発信

##### [写真パネル展（4回）]

開催日：平成28年5月10日（火）～31日（火）

会 場：アカデ美和

開催日：平成28年8月1日（月）～24日（水）

会 場：清水テルサ

開催日：平成28年9月24日（土）～30日（金）

会 場：入江生涯学習交流館

開催日：平成28年10月4日（火）～20日（木）

会 場：岡生涯学習交流館

#### カ) しずまえ・オクシズまつりへのブース出展

開催日：平成28年10月22日（土）～23日（日）オープニングイベント

平成28年11月19日（土）～20日（日）クロージングイベント

会 場：新東名高速道路 静岡SA上り

**キ)「環境・自然展2017」へのブース出展**

開催日：平成29年2月18日（土）～3月30日（木）

会場：青島北地区交流センター及び藤枝市役所（藤枝市）

**ク)南アルプスユネスコエコパークロゴマークの活用**

- ・職員名刺への活用
- ・PRポロシャツの作成及び着用
- ・フリーペーパーへの継続掲載
- ・登山タクシーへのロゴマークの活用

**ケ)南アルプスユネスコエコパーク地域特派員の派遣**

- ・南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家において「ユネスコエコパーク学習会」の講師を務めた（全7回）。
- ・ユネスコエコパーク拠点施設のPR展示管理を行った。
- ・いかわね新聞（組織No.7南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会実施事業）編集部会へ参画した。

全活動日数：述べ113日

**コ)南アルプス衛星ライブカメラホームページの運用**

- ・牛首峠から見える赤石岳の映像をホームページで配信した。

閲覧数：124,167PV（ページビュー）



**③ 首都圏等での情報発信**

**ア)第4回夏山フェスタへのブース出展**

日時：平成28年6月11日（土）～12日（日）

会場：ウイंकあいち（愛知県名古屋市）

来場者数：7,410人

**イ)静岡市交流会in東京へのブース出展**

日時：平成28年12月14日（水）

会場：ホテルグランドパレス（東京都千代田区）

来場者数：499人

**④ 海外向けの情報発信**

- ・富士山静岡空港離発着エアソウル便を利用した韓国人訪日旅行客を対象としてノベルティを配布した。
- ・多言語パンフレット「南アルプスの“南”に登ったら」英語版、韓国語版、簡体字版、繁体字版を発行した。

**【事業No.16】静岡市MORIガールプロジェクト**（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

**【事業No.25】オクシズ在来作物活用事業**（再掲）

【事業No.26】 地域おこし協力隊配置事業（再掲）

【組織No. 7】 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）

4) 地域資源の持続可能な利用

【事業No. 9】 中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業

平成27年3月にまちづくりモデルを策定し、再生可能エネルギーの導入に向け、よりポテンシャルが有望な箇所を検討するとともに、導入に向けた事業スキームの整理に着手した。

【事業No.11】 静岡市森林環境アドプト事業

① 森林整備計画の検討・整備実施

森林地域の恩恵を受ける都市地域の企業・団体等の寄附により、二酸化炭素の吸収に必要な森林の整備を行った。

[実績]

平成23～26年度	葵区俵峰地区	32.1ha
平成27年度	清水区河内地区	17.6ha
平成28年度	清水区河内地区	9.36ha

② 森林環境アドプト企業認定証授与式の開催

参加企業に静岡市森林環境アドプト実行委員会から「静岡市森林環境アドプト企業認定書」を授与し、静岡市長から感謝状を贈呈した。

開催日：平成28年10月28日（金）

会 場：静岡市役所

③ しんきんビジネスマッチング静岡2016への参加

企業ブースにてパネル等を展示し、本市の森林環境アドプト事業をPRした。

開催日：平成28年10月12日（水）

会 場：ツインメッセ静岡

【事業No.24】 野生鳥獣被害対策事業

野生鳥獣による農作物等の被害を防除するため、農林業者等への助成、有害鳥獣の捕獲事業等を行った。

① 農林業者等への助成（防除事業）

個 別 型	： 110件	6,785千円	19.0ha	
団 体 型	： 58件	10,049千円	24.2ha	
地域一体型	： 7件	39,669千円	108.4ha	
合 計	： 175件	56,503千円	151.6ha	※全市実績

## ② 有害鳥獣捕獲事業

	捕獲実績数	報償金額	
ニホンザル：	232頭	6,960千円	
ニホンジカ：	618頭	12,360千円	
イノシシ：	1,808頭	27,270千円	
カラス	： 223羽	111千円	
アライグマ：	126頭	630千円	
ハクビシン：	210頭	1,050千円	
合 計：	3,217頭	48,381千円	※全市実績

### 【事業No.28】 林業担い手育成対策事業

林業労働災害の発生防止等を支援するため、各種補助金を交付した。

#### ① 林業労働安全衛生対策事業補助金

労働災害防止等の就労環境改善に必要な経費を助成した。

#### ② 林業労務者振動病対策事業補助金

振動機械の使用による障害の予防対策の一環として、林業、製材業関係者が実施する特殊健康診断に対する経費を助成した。

## (2) 将来を担う人材育成と受入体制・環境づくり

### 1) 地域資源をつなげる人材の育成

【事業No.15】 普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.21】 南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業（再掲）

### 2) 地域の担い手育成

【事業No. 1】 移住希望者向け情報発信事業（再掲）

【事業No. 7】 井川地域における食文化調査事業（再掲）

【事業No. 8】 井川地域の雑穀文化保存活用事業（再掲）

【事業No.15】 普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.21】 南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業（再掲）

### 【事業No.23】 中山間地移住促進事業

#### ① 空き家情報の発信

ホームページ「中山間地域空き家情報バンク」により情報を発信した。



URL : <http://www.okushizuoka.jp/live/article/000689.html>

**[利用実績]** 14件

梅ヶ島地区	2件	平成28年9月、平成29年1月契約
大川地区	4件	平成28年6月、8月、平成29年3月（2件）契約
清沢地区	3件	平成28年6月、10月、11月契約
玉川地区	2件	平成28年6月、7月契約
両河内地区	2件	平成28年10月、12月契約
小島地区	1件	平成28年12月契約
※平成29年3月31日現在登録件数 10件		

**② 移住者支援**

**ア) 中山間地域移住者用住宅改修事業補助金**

空き家情報バンクに掲載されている賃貸住宅の改修にかかる経費に対し、補助金を交付した。

**[交付実績]** 6件

玉川地区	平成28年9月交付	100万円
大川地区	平成28年9月交付	100万円
	平成29年2月交付	100万円
清沢地区	平成28年12月交付	100万円
	平成29年4月交付	100万円
両河内地区	平成28年12月交付	100万円

**イ) 中山間地域移住報奨金**

移住後6月以上の居住実績があり、交付後5年間の生活の様子を情報発信し、市の実施する移住促進事業に協力する者に対し、報奨金を交付した。

**[交付実績]** 5件

梅ヶ島地区	平成28年8月交付	20万円
清沢地区	平成28年9月交付	40万円
	平成29年4月交付	20万円
大川地区	平成29年4月交付	100万円
	平成29年4月交付	60万円

**③ 受入地域支援**

地域が実施する移住促進活動にかかる経費に対し、移住促進事業補助金を交付した。

**[交付実績]** 1件

大川地区 50万円

(活動内容：移住体験ツアー2回実施、移住促進フェア2回出展、移住促進ポスター作製、イベント時使用の法被作成)

【事業No.26】 地域おこし協力隊配置事業（再掲）

【組織No.10】 オクシズ在来作物連絡協議会（再掲）

### 3) 交流人口の増加

【事業No.3】 井川湖畔遊歩道草刈業務（遊歩道維持管理業務）

井川湖畔遊歩道の快適な利用と景観の美化を維持するため、遊歩道の除草作業等の維持管理を行った。

- ・ 遊歩道草刈り 平成28年 7月29日（金）  
8月25日（木）  
10月7日（金）の3回実施
- ・ 遊歩道巡回（ゴミ拾い、折れ枝等撤去） 19回実施
- ・ 遊歩道パンフレットの補充（残数を確認し、常時対応）



井川湖畔遊歩道

【事業No.5】 静岡型体験観光推進事業（再掲）

【事業No.15】 普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.20】 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターの整備・活用（再掲）

【事業No.30】 静岡市道路休憩施設

既存の観光・地域振興施設と連携を図り、道路利用者へ駐車場とトイレを提供することで、道路利用者の安全性及び利便性を向上させることを目的に道路休憩施設を設置している。

#### ① 広報活動

- ・ 道路休憩施設に対し、多くの人々が親しみを持てるよう新愛称を募集し、選考の末「オクシズの駅」に決定した。
- ・ オクシズドライブマップ及び静岡市道路休憩施設ホームページを更新し、広報活動を実施した。
- ・ 道路計画課、中山間地振興課、各静岡市道路休憩施設（有人）、各区役所1階総合案内等でオクシズドライブマップの配布を行った。

【事業No.40】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動（再掲）

【組織No.1】 大井川流域振興連絡会

P33参照

【組織No.7】 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）

【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（再掲）

#### 4) 観光地としてのレベルアップ

【事業No.21】南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業（再掲）

【事業No.25】オクシズ在来作物活用事業（再掲）

【事業No.30】静岡市道路休憩施設（再掲）

#### 5) 交通アクセスの向上

【事業No.2】井川湖渡船運航業務

##### ① 渡船運行

[実績]

年間運航回数：1,133回

年間乗客数：3,209人



井川湖渡船

##### ② 渡船関係施設の維持管理

- ・湖水面の上昇、下降に伴う棧橋の移動及び乗場の流木、ゴミ、土砂等の撤去を実施した。
- ・井川本村乗場の歩道整備及び草刈り、宮向乗場の階段及び歩道整備を実施した。
- ・渡し板修理、係留ロープ交換を実施した。

##### ③ 渡船パンフレットの作成

- ・渡船のパンフレットを作製し、井川自然の家や井川ビジターセンター等の近隣施設に配架し、各施設訪問者及び宿泊者の誘客を図った。
- ・「しずまえ・オクシズまつり」や「静岡市交流会in東京」等各種イベント時にパンフレットを配架し、イベント参加者への誘客を図った。

##### ④ 缶バッジ配布

- ・地元の小中学生と渡船運行業者の共同で渡船PR用缶バッジを作製し、期間限定で渡船利用者に配布し、誘客を図った。

##### ⑤ 大学との連携による地域課題解決事業の実施

- ・市と大学による地域課題解決事業により、静岡産業大学と共同で渡船航路・運航体制の見直しを通じた井川地区の回遊性について研究し、課題を顕在化させ、今後の方向性について検討した。

【事業No.3】井川湖畔遊歩道草刈業務（遊歩道維持管理業務）（再掲）

**【事業No.19】 南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理（再掲）**

**【事業No.22】 南アルプス周辺登山道整備事業（再掲）**

**【事業No.29】 井川地区自主運行バス運行事業**

住民の移動手段の確保及び学童輸送や観光客にも対応した自主運行バスを運行した。

**〔観光客対応〕**

7、8、10、11月の土曜、日曜、祝日の運行ダイヤを増便した。

運行ルート：静岡市葵区横沢～南アルプス赤温泉白樺荘

利用者数：6,230人／年



井川地区自主運行バス

**【事業No.30】 静岡市道路休憩施設（再掲）**

**【事業No.31】 道路トンネル補修事業**

地域住民、来訪者の安心・安全な通行を確保し、交通アクセスの向上を図るため、トンネル点検による要対策箇所の補修を実施した。

**① トンネル補修工事の実施**

定期点検により、補修が必要と判定されたトンネルの補修工事を実施した。

補修トンネル：(主) 南アルプス公園線 田代第5号トンネル

**② トンネル定期点検の実施**

トンネルの健全度を判定するための定期点検を実施した。

点検トンネル：(主) 南アルプス公園線 井川隧道  
田代第2号トンネル  
田代第3号トンネル  
田代第6号トンネル

**【事業No.32】 道路自然災害防除事業（法面）**

地域住民、来訪者の安心・安全な通行を確保し、交通アクセスの向上を図るため、道路防災点検による緊急輸送路上の要対策箇所の対策を実施した。

**① 法面对策工事の実施**

道路防災点検により、緊急・早期に法面对策が必要と評価された箇所のうち、緊急輸送路上の要対策箇所について工事を優先的に実施した。

対策箇所：(主) 南アルプス公園線 井川日向

**【事業No.33】 橋脚のある橋りょうの耐震化事業**

地域住民や来訪者の安心・安全な道路通行を可能とするため、橋りょうの耐震化を実施した。

平成7年に甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災において、橋脚のある橋に被害が集中したことから、平成34年度までに市が管理する橋脚のある197橋の耐震化を優先的に実施することとしており、平成28年度時点では、既に124橋の耐震化を実施した。

**〔ユネスコエコパーク登録地域内対象橋りょう〕**

- (主) 南アルプス公園線 赤土沢橋 (平成25年3月15日完成)
- (主) 井川湖御幸線 前川橋 (平成31年度予定)
- (市) 上坂本線 所沢橋 (平成30年代前半を予定)

**6) 地域住民や来訪者の安全性・利便性・快適性の確保**

**【事業No.22】南アルプス周辺登山道整備事業 (再掲)**

**【事業No.34】千代田消防署井川出張所維持管理**

井川地域住民等の安全を確保し、非常事態に備えた体制を整備するため、井川地域の消防、救急を担う拠点施設となる千代田消防署井川出張所庁舎の維持管理を行った。

**【事業No.35】山岳救助体制の充実**

地域住民や来訪者の安全を確保するため、千代田消防署しずはた出張所に山岳救助隊を設置し、山間地域において事故が発生した際には、消防航空隊と連携して捜索、救出、救護を実施した。



山岳救助訓練の様子

**【事業No.36】ヘリコプター南アルプス活動拠点指定**

登山者等の非常事態へ迅速に救助・救急対応をするため、登山道にヘリコプターのレスキューポイント及び着陸場を指定するための調査等を実施した。

**① 登山調査・上空調査**

南アルプスの森林限界以下(樹林帯)登山道に、ヘリコプターから救助隊員をホイスト等で投入できる場所を指定するため、ヘリコプターによる上空からの調査・写真撮影及び赤石岳までの登山ルートにおける登山調査を実施した。

**② 資料作成・配布**

南アルプス活動拠点資料を更新し、関係機関に配布を行うとともに、他機関と

の連携による対応を推進した。

**【組織No.11】 静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部**

P 38参照

## 4 理念の継承と管理運営体制の構築（3つの機能を支える連携機能）

### （1）国内外への積極的な情報発信とオール静岡による意識醸成

#### 1）国内外への積極的な情報発信

##### 【事業No.6】海外プロモーション事業

##### ① 現地プロモーション

現地旅行博やセミナー、商談会へ参加し、旅行エージェント等へPRを実施した。

##### [台北国際旅行博への出展]

出展期間：平成28年11月4日（金）～7日（月）

##### [台北マラソンEXPO、台北マラソン会場への出展]

出展期間：平成28年12月15日（木）～18日（日）

##### [韓国ソウル特別市内飲食店でのPR]

実施期間：平成29年1月8日（日）～12日（木）

##### [タイ国際旅行フェア（TITF#20）2017への出展]

出展期間：平成29年2月15日（水）～19日（日）

##### [パンフレット配架]

配架先：静岡県台湾事務所、ソウル事務所等

##### ② フェイスブック、現地旅行雑誌等を活用した情報発信

ブログ、フェイスブック、インスタグラム、旅行雑誌等を活用し、各現地の人目線で静岡市の魅力を発信した。

- ・台湾の著名人によるSNSでの情報発信
- ・韓国国内ブログ運営
- ・タイの著名人によるSNSでの情報発信

##### 【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

##### 【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（再掲）

#### 2）国際対応

##### 【事業No.5】静岡型体験観光推進事業（再掲）

##### 【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

#### 3）オール静岡による意識の醸成

##### 【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

##### 【事業No.16】静岡市MORIガールプロジェクト（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.17】 南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.37】 自然体験活動指導者育成講座（再掲）

【事業No.38】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業（再掲）

【事業No.39】 学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供  
（再掲）

【事業No.42】 社会科副読本との連携（再掲）

【組織No.10】 オクシズ在来作物連絡協議会（再掲）

（2）産官学民協働による管理運営体制の構築

1）南アルプスユネスコエコパーク全体の管理運営体制の構築

【組織No.9】 南アルプス自然環境保全活用連携協議会（再掲）

2）静岡県、川根本町等との連携体制の構築

【組織No.7】 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）



#### 4 関連組織の活動状況

実行計画に掲載されている関連組織の活動状況は次のとおりとなります。

##### 【組織No.1】大井川流域振興連絡会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成28年度大井川流域振興連絡会総会	平成28年5月30日（月） 島田市民総合施設プラザ	・平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画等について
大井川流域PR事業	平成29年3月18日（土）、 19日（日） 富士山静岡空港 2階富士山回廊	・大井川流域の名産品を集めた物産展を開催 ・開催周知のためのPR動画制作、新聞広告の掲載等を実施
まちかど博物館推進事業	平成28年4月1日（金）～ 平成29年3月31日（金）	・まちかど博物館を活用したプログラムづくり ・まちかど博物館MAP作成 ・Webサイトをリニューアル公開
フォトコンテスト及び写真教室	平成28年4月1日（金）～ 平成29年2月26日（日）	・第21回白旗史朗大井川流域フォトコンテスト
エコツーリズム推進活動支援事業	平成28年4月1日（金）～ 平成29年3月31日（金）	・地域団体支援のための補助金交付 ・南アルプス・井川エコツーリズム推進協議会 ・（一社）エコティかわね ・地域資源を生かしたツーリズム推進会議

##### 【組織No.2】静岡県中央新幹線工事調整連絡会

平成28年度の開催実績なし

##### 【組織No.3】静岡市中央新幹線整備対策本部

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成28年度第1回静岡市中央新幹線整備対策本部会議・幹事会合同会議	平成28年7月15日（金） 静岡庁舎8階市長公室	・本市要望事項に関する事業者との協議状況等について
平成28年度第2回静岡市中央新幹線整備対策本部会議・幹事会合同会議	平成29年3月15日（水） 静岡庁舎本館3階第3委員会室	・本市要望事項に関する事業者との協議状況等について

**【組織No. 4】 静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会**

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第4回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	平成28年6月8日（水） 葵消防署7階71会議室	・発生土置き場計画について
第5回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	平成29年2月8日（水） 上下水道局庁舎7階71会議室	・公開質問状について ・事後調査報告書について

**【組織No. 5】 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議**

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第7回静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	平成29年2月7日（火） 静岡県庁別館7階 第2会議室A	・事後調査報告書について ・今後の予定

**【組織No. 6】 南アルプス高山植物等保全対策連絡会**

本会が進めてきた南アルプス国立公園及びその隣接地域を対象区域としたニホンジカ対策の情報交換、連絡会が策定した「南アルプスニホンジカ対策方針」を、南アルプス自然環境保全活用連携協議会におけるニホンジカ対策WGへ引き継ぐことを検討した。

**【組織No. 7】 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会**

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成28年度総会	平成28年6月10日（金） 14:30～ 静岡市青葉会議棟	・平成27年度の事業報告・収支決算 ・会則の変更について ・平成28年度の事業計画（案）・収支予算（案）について
第1回担当者会議	平成28年11月28日（月） 14:00～ 静岡市役所本館	・実施事業、負担金割合の見直しについて ・南アルプスユネスコエコパーク静岡地域のキャッチコピーについて
井川と川根をつなぐ「いかわね新聞」編集部会	第1回：平成28年4月21日（木）13:30～15:30 エコティかわね 第2回：平成28年8月30日（火）13:30～15:30 井川支所 第3回：平成28年11月28日（月）13:30～15:30	地域の資源や魅力、ユネスコエコパークの理念、最新情報等を共有・発信することを目的として、昨年度に引き続き、「いかわね新聞」第4号から第6号までの発行とそれに係る編集部会を開催した。

	静岡市役所本館 第4回：平成28年12月16日 (金) 13:30～15:30 川根本町総合支所 第5回：平成29年3月27日 (月) 13:30～15:30 井川支所	
井川と川根をつなぐ 「いかわね新聞」発行	・第4号(7月1日号) ・第5号(11月1日号) ・第6号(3月1日号)	

**【組織No.8】 静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会**

平成28年度の開催実績なし

**【組織No.9】 南アルプス自然環境保全活用連携協議会（旧南アルプス世界自然遺産登録推進協議会）**

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成28年度総会	平成28年7月9日 静岡市東部就労者福祉センター清水テルサ（静岡県静岡市）	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度事業報告後、本会の目的変更も含めた規約の改正について協議し、本会を「南アルプス自然環境保全活用連携協議会」と名称変更</li> <li>平成28年度事業計画等に係る協議</li> </ul>
平成28年度幹事会	第1回：平成28年5月10日 南アルプス市地域防災交流センター（山梨県南アルプス市） 第2回：平成28年6月23日 静岡市役所（静岡県静岡市） 第3回：平成29年2月23日 川根本町役場総合支所（静岡県榛原郡川根本町）	本会事業活動を効率的に推進するため、南アルプス地域を取り巻く課題を整理し、本会の目指すべき今後の活動のあり方、ビジョン、組織体制、事業等についての議論・検討を行うため、幹事会、調整会議等を開催した。
平成28年度調整会議	第1回：平成28年4月20日 南アルプス市役所（山梨県南アルプス市） 第2回：平成28年6月16日 南アルプス市役所（山梨県南アルプス市）	

	<p>第3回：平成28年8月25日 南アルプス市役所（山梨県南アルプス市）</p> <p>第4回：平成29年1月30日 南アルプス市役所（山梨県南アルプス市）</p>	
地域連絡会議	<p>第1回：平成28年8月25日 高原ロッジ下栗（長野県飯田市）</p> <p>第2回：平成28年12月22日 伊那市長谷公民館（長野県伊那市）</p>	構成市町村及び関係機関の情報共有、課題の整理、職員研修等を図るため、構成市町村会場にて会議を開催した。
各課題に対応したワーキンググループ（WG）の設置	<p>（1）登山道誘導標識 WG（担当：長野県伊那市）</p> <p>（2）情報発信 WG（担当：山梨県韮崎市）</p> <p>（3）看板表示 WG（担当：山梨県北杜市）</p> <p>（4）ユネスコエコパーク定期報告 WG（担当：長野県飯田市）</p> <p>（5）管理運営計画 WG（担当：山梨県南アルプス市）</p> <p>（6）ニホンジカ対策 WG（担当：環境省関東地方環境事務所）</p> <p>（7）ライチョウ保護 WG（担当：静岡県静岡市）</p> <p>（8）林道 WG（担当：長野県伊那市）</p>	南アルプスの抱える多様な課題に対応すべく、構成市町村に参加を加えたメンバーで8つのWGを設置し、各関係者が主体的に課題に取り組んだ。
ユネスコエコパーク推進事業[南アルプスライチョウサポーター制度の創設]	<p>山梨会場： 平成28年6月12日 南アルプス市地域防災交流センター（山梨県南アルプス市）</p> <p>静岡会場： 平成28年6月25日 静岡市女性会館アイセル 21</p>	南アルプスユネスコエコパークのシンボルであるライチョウの保護増殖事業に寄与し、本会の実施する自然環境保全活動を広く周知するため、南アルプスライチョウサポーター制度を創設した。サポーター養成講座は5会場で開催し、計353名をサポーターとして認定した。

	<p>(静岡県静岡市)</p> <p>首都圏会場：平成 28 年 6 月 26 日 NOF 新宿南口ビル (東京都新宿区)</p> <p>長野会場：平成 29 年 3 月 4 日 伊那市役所 (長野県伊那市)</p> <p>静岡会場第 2 回： 平成 28 年 12 月 3 日城東保健福祉エリア (静岡県静岡市)</p>	
ユネスコエコパーク推進事業 [日本ユネスコエコパークネットワーク (JBRN) への参画]	<p>(1) JBRN 運営 WG</p> <p>①平成 28 年 5 月 12 日 地球環境パートナーシッププラザ (東京都渋谷区)</p> <p>②平成 28 年 6 月 27 日 日本自然保護協会 (東京都中央区)</p> <p>(2) JBRN2016 大会 平成 28 年 7 月 25 日～26 日 国際連合大学(東京都渋谷区)</p> <p>(3) 国際シンポジウム 平成 28 年 7 月 25 日 国際連合大学(東京都渋谷区)</p>	<p>国内登録地域間で情報交換等し、ユネスコエコパークの国内推進を図ると共に、ユネスコ本部 MAB 担当者と国内登録地域実務者の交流機会とするための国際シンポジウムやワークショップに参加し、世界に期待される日本のユネスコエコパーク活動等について、知見を深めた。</p>
ジオパーク推進事業	<p>(1) 阿蘇ジオパーク復興支援金募集・送金 平成 28 年 6 月～7 月</p> <p>(2) 第 4 回日本ジオパーク中部ブロック大会 平成 28 年 8 月 26 日～27 日 (富山県黒部市)</p> <p>(3) 第 7 回日本ジオパーク全国大会 平成 28 年 10 月 10 日～12 日 (静岡県沼津市)</p> <p>(4) 再認定現地審査 平成 28 年 10 月 31 日～11 月 1 日 (ジオパークエリア内)</p> <p>(5) 糸魚川ジオパーク復興支援金募集・送金</p>	<p>南アルプスが有する地形・地質や自然景観の見どころを全国へ広く発信するため、日本ジオパークネットワーク (JGN) の活動に参加するとともに、阿蘇ジオパークの震災、糸魚川ジオパークの火災に対する復興支援金の募集を行った。</p> <p>また、南アルプス (中央構造線エリア) ジオパークが受けた再認定審査への対応を支援し、再認定されている。その他、世界ジオパークに関する情報収集、3 県全体でのジオパーク登録に向けた活動のあり方について検討した。</p>

	(6) その他 JGN 理事会、役員地域事務局長会議 等	
--	------------------------------	--

### 【組織No.10】 オクシズ在来作物連絡協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第1回連絡協議会	平成28年6月6日 静岡市林業センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度事業報告</li> <li>平成28年度事業計画</li> <li>意見交換</li> </ul>
第2回連絡協議会	平成28年9月16日 静岡市林業センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度 在来作物関連イベントの実施について</li> <li>平成29年度事業計画の立案について</li> <li>意見交換</li> </ul>

### 【組織No.11】 静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成28年度静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部総会	平成28年6月3日(金) 13:30～ 静岡市林業センター会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度事業報告及び収支決算について</li> <li>役員改選について</li> <li>平成28年度事業計画及び収支予算について</li> <li>山岳遭難事故発生時連絡網等について 他</li> </ul>
「南アルプス登山観光情報」の作成	平成28年7月	南アルプスの登山ルート、注意事項、山小屋一覧等を掲載した「南アルプス登山観光情報」を作成した。
春山登山相談所の開設	平成28年4月29日(金)～5月8日(日) 沼平登山指導センター	登山届の提出指導及び受付、コース・装備の指導、気象・交通状況の案内、遭難事故防止の呼びかけ等
夏山登山相談所の開設	平成28年7月16日(土)～8月31日(水) 畑薙第一ダム夏季臨時駐車場	春山登山相談所の開設に同じ
登山道調査	平成28年8月2日(火)～4日(木) 南アルプス(聖岳及び茶臼岳周辺登山道)	実歩により登山道調査を実施し、国土地理院が発行する地図上に誤って記されていた登山道を修正した。

## 5 モニタリング実施状況

平成28年度のモニタリングの実施状況を集約しました。

### (1) モニタリング実施項目

モニタリング項目		
区分	項目	
生活環境	大気質の状況	二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、風向・風速 ほか（環境保全課）
	騒音・振動の状況	自動車交通騒音、道路交通振動（環境保全課）
	水質の状況	水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、カドミウム、鉛 ほか（環境保健研究所）
自然環境	動植物の状況	哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、淡水魚類、昆虫類、底生動物、植物（環境創造課）
	植生の状況	毎木調査、樹木マッピング（環境創造課）
	水資源の状況	トンネル掘削による影響（環境創造課）
	希少種の生息・生育状況	ライチョウの生息状況把握調査（環境創造課）
調査・教育	環境教育・学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家」利用者数（井川自然の家）</li> <li>・静岡県「県民の森」利用者数（静岡県くらし・環境部環境局/環境ふれあい課）</li> </ul>
	伝統文化等の保存状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化等の保存状況[県指定文化財、市指定文化財]（文化財課）</li> <li>・在来作物調査（文化財課）</li> </ul>
社会状況	観光振興の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井川地区内・施設入込客数（中山間地振興課外）</li> <li>・主要施設利用者数（中山間地振興課）</li> <li>・交通機関利用者数（井川支所、交通政策課外）</li> </ul>
	産業振興の状況	・井川地区事業所数及び従業員数
	地域を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井川地区の人口及び世帯数</li> <li>・井川地区の高齢化率</li> <li>・静岡市立井川小学校・中学校 児童・生徒数（教育総務課）</li> </ul>

## (2) モニタリングの概要

### 1) 大気質調査

#### ① 調査項目

二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、  
風向・風速 ほか

#### ② 調査地点及び時期

井川支所（2月）、玉川地区（8月）

#### ③ 調査結果

環境基準値や静岡市内の大気汚染常時監視測定局等との比較により、調査地点の大気汚染は少ないことが確認された。



### 2) 騒音・振動調査

#### ① 調査項目

自動車交通騒音、道路交通振動

#### ② 調査地点（時期）

井川地区：南アルプス公園線（12月）

玉川地区：井川湖御幸線（12月）

#### ③ 調査結果

環境基準値等との比較により、調査地点の騒音・振動の程度は小さいことが確認された。



### 3) 水質調査

#### ① 調査項目

水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、  
カドミウム、鉛 ほか

#### ② 調査地点及び時期

大井川本流ボッチ薙付近、燕沢付近、樺島付近、  
東俣川二軒小屋付近、西俣川二軒小屋付近

（5月、7月、9月、11月）

#### ③ 調査結果

水質基準値や市内河川の水質データとの比較により、調査地点は良好な水質であることが確認された。



### 4) 動植物調査

#### ① 調査項目

哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、淡水魚類、昆虫類、  
底生動物、植物





## ② 調査地点及び時期

中央新幹線建設事業に伴い改変が予想される地域  
(5、6、7、8、9、10、11月)

## ③ 調査結果

全体で重要な種45種を確認した。その内8種は、中央新幹線環境影響評価手続きの現地調査では確認されなかった種であった(淡水魚類2種、昆虫類2種、植物4種)。



カジカ



カワネズミ



ヤマトイワナ



ホテイラン

## 5) 植生調査

### ① 調査項目

毎木調査、樹木マッピング

### ② 調査地点及び時期

千石沢周辺、上千枚沢河岸林、燕沢上及び胡桃沢(8月)

### ③ 調査結果

南アルプスの谷部では代表的な常緑針葉樹林及び落葉広葉樹林の構成を確認することができ、工事に伴い改変された場所を再生する際の指標再生植生として有効なデータを得ることができた。また、過去3年間の調査結果を冊子にまとめた。



## 6) 水資源調査

南アルプスの水循環モデルを構築し、トンネル掘削による表流水、地下水への影響を予測した。

### ① 調査項目

現況モデル、工事後モデル

### ② 調査地点

南アルプス主要部(中央新幹線建設事業 早川～小渋川間トンネル約25km含む)

### ③ 調査結果

平成26年度に実施した水資源調査の結果に、斜坑、先進導杭、導水路トンネル等の新たな情報を加え再解析を行った結果、トンネル掘削による湧水量は、毎秒約1.6 tと予想され、導水路トンネルを建設したとしても、毎秒1t以上の湧水が山梨県側に流失する可能性があることが判明した。

## 7) ライチョウの生息状況把握調査

### ① 調査内容

目視調査、痕跡調査、生息環境圧迫要因調査

### ② 調査場所及び時期

南アルプス南部 聖岳、茶臼岳、イザルガ岳等（5～10月）

### ③ 調査結果

#### 〔目視調査、痕跡調査〕

例年と同様、分布南限地域でのなわばり数は3なわばりと推定された。

また、南限とされるイザルガ岳では今年も繁殖が見られず、非繁殖は6年連続となった。

この他、南アルプス北部から南部へ長距離移動した個体を確認した。

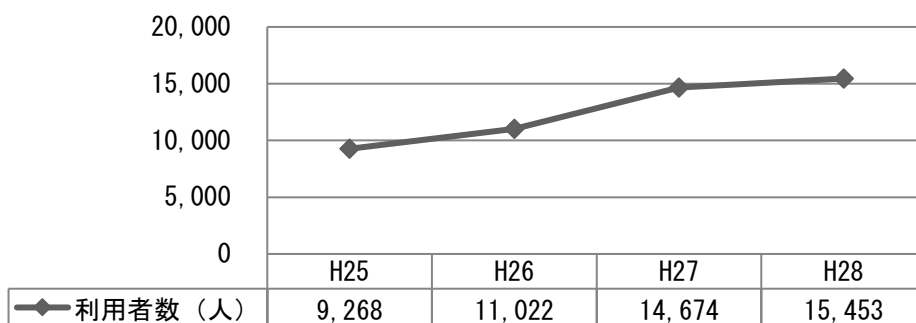
#### 〔生息環境圧迫要因調査〕

ライチョウ捕食者とされる哺乳類では、2種（キツネ、テン）の痕跡が確認された。ライチョウ捕食者とされる鳥類では、3種（イヌワシ、ノスリ、ハシブトガラス）が確認された。

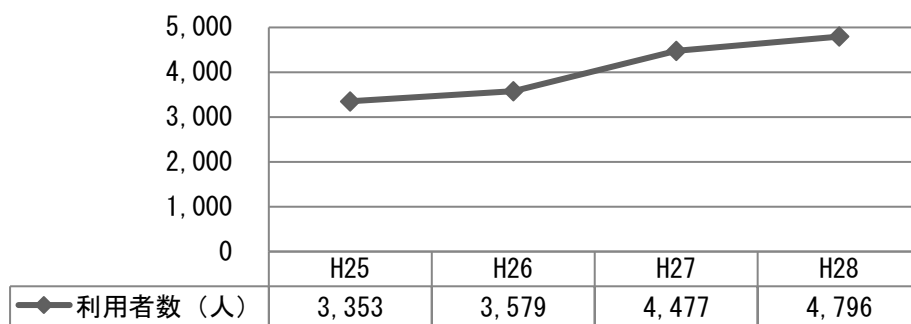
いずれも、捕食行動は目撃・確認されなかったが、捕食された可能性が高い卵殻を確認した。

## 8) 環境教育・学習の状況

### ① 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用者数



## ② 静岡県「県民の森」利用者数



## 9) 伝統文化等の保存状況

### ① 県指定文化財

種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	彫刻	木造千手観音立像	H17. 11. 29	葵区井川	観音堂別当
		ほか3 軀附1 軀		中野観音堂	
民俗文化財	無形民俗文化財	ヤマメ祭	H17. 11. 29	葵区田代	諏訪神社氏子会

### ② 市指定文化財

種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	建造物	田代の一間造りの民家	H11. 6. 21	葵区田代	個人蔵
有形文化財	工芸	鱒口	H20. 3. 26	葵区井川	中野観音堂

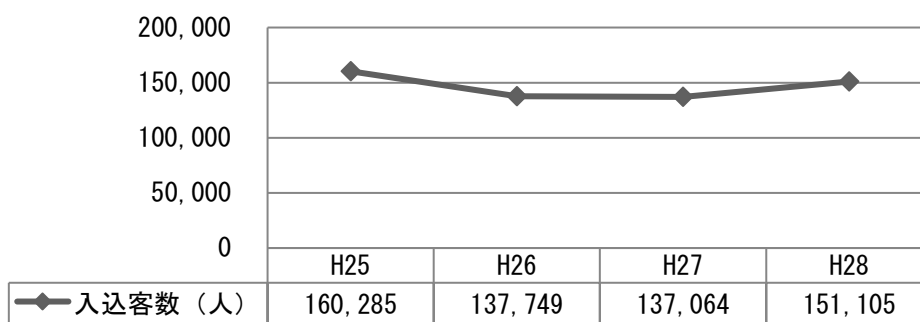
### ③ 在来作物調査

平成26～27年度に実施した調査を実施報告書としてまとめた。また、これまでの調査成果をもとに、五感で楽しむことができる在来作物の魅力を紹介するカタログ「オグシズ在来作物 紀行―風景を味わう―」を作成した。



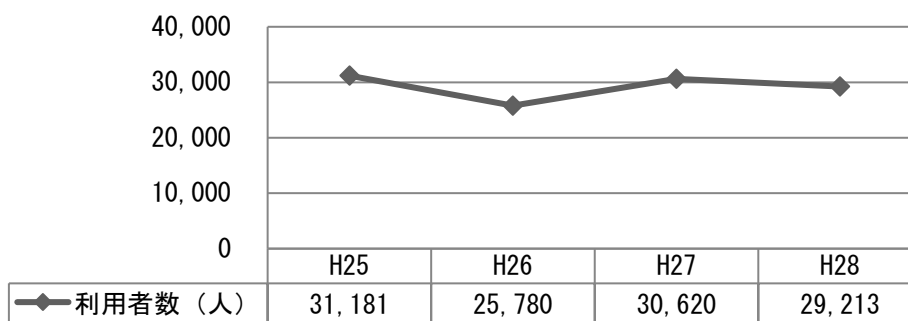
## 10) 観光振興等の状況

### ① 井川地区内・施設入込客数

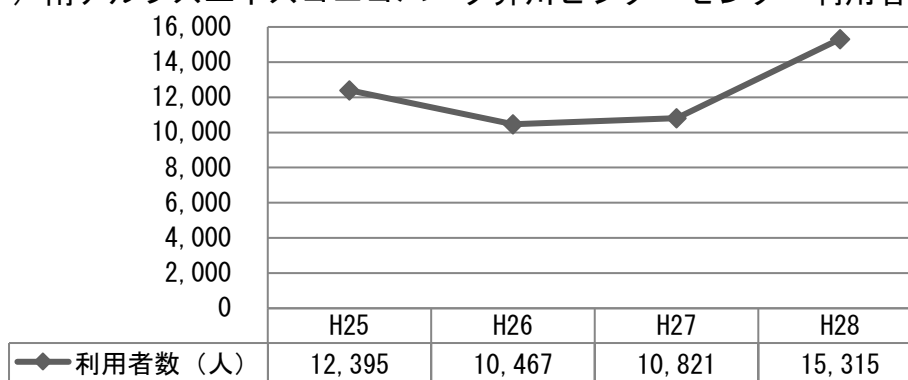


② 主要施設等利用者数

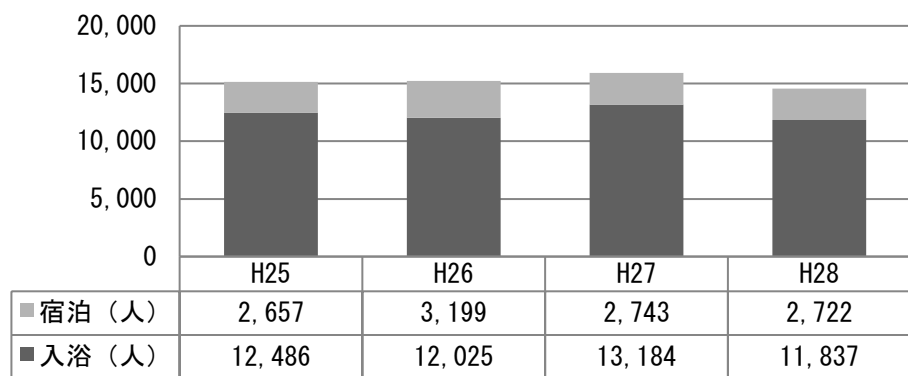
ア) ロッジ、山小屋等利用者数



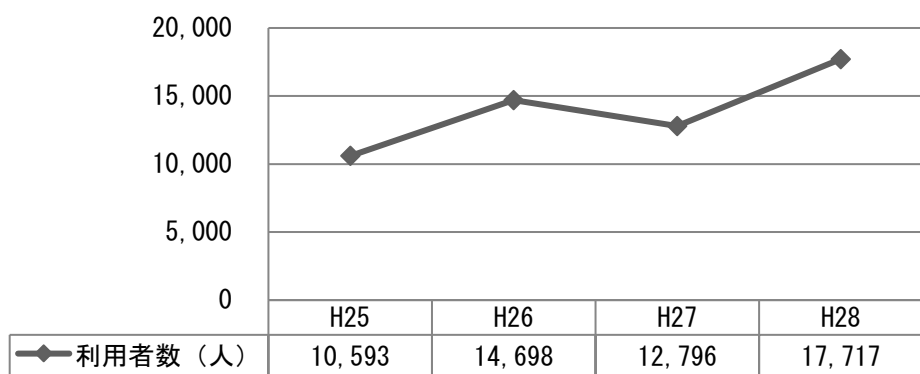
イ) 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター利用者数



ウ) 南アルプス赤石温泉 「白樺荘」利用者数

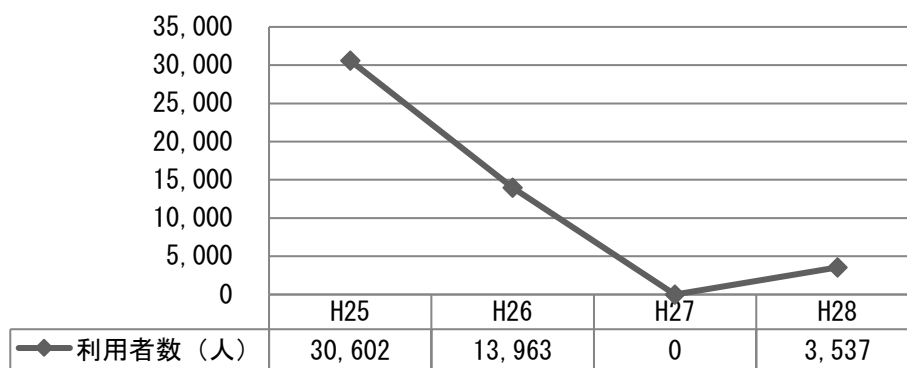


エ) リバウエル井川スキー場利用者数



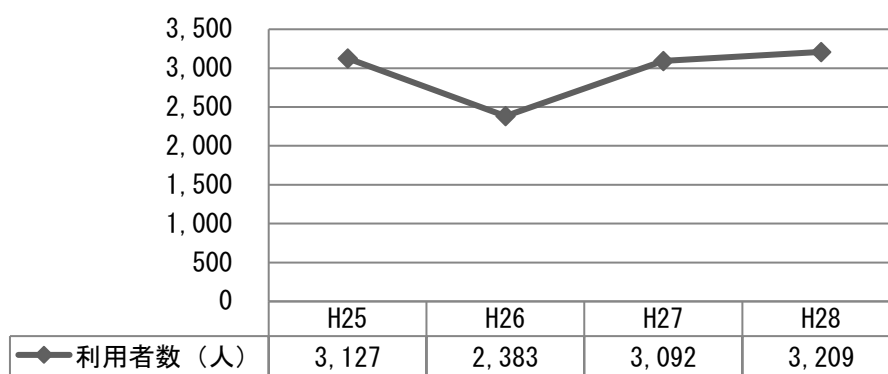
### ③ 交通機関利用者数

#### ア) 大井川鉄道井川線（井川駅）利用者数

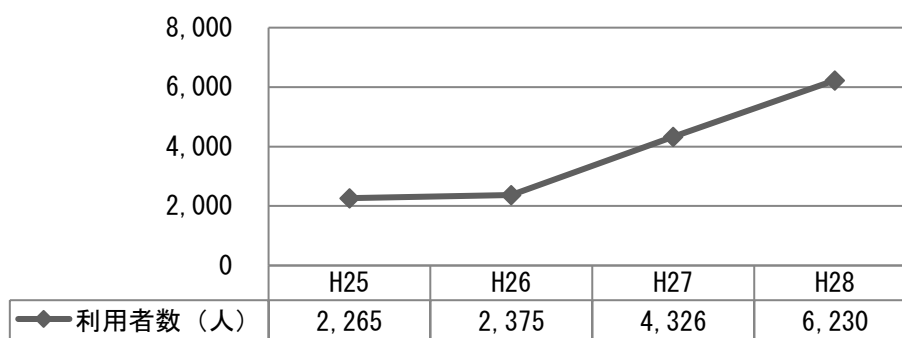


※井川線(接岨峡温泉駅-井川駅間)は、平成26年9月2日～平成29年3月10日まで崩土により運休

#### イ) 井川湖渡船利用者

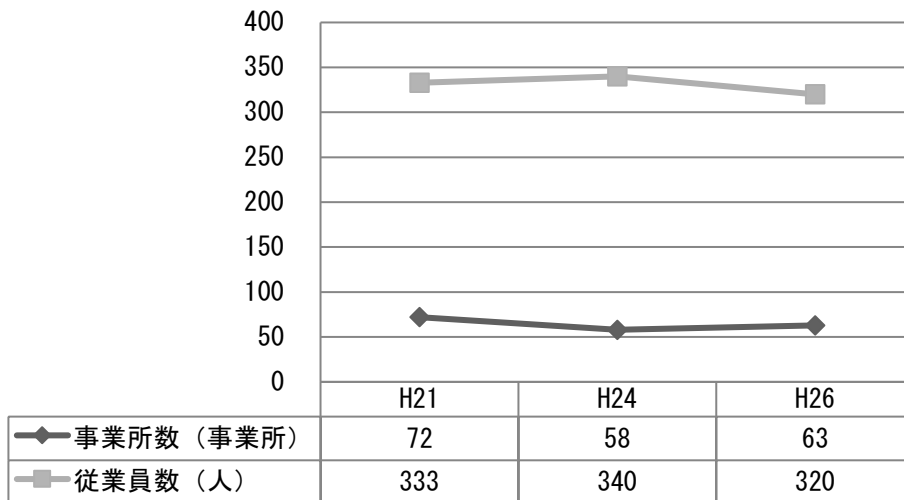


#### ウ) 井川地区自主運行バス利用者数



## 11) 産業振興の状況

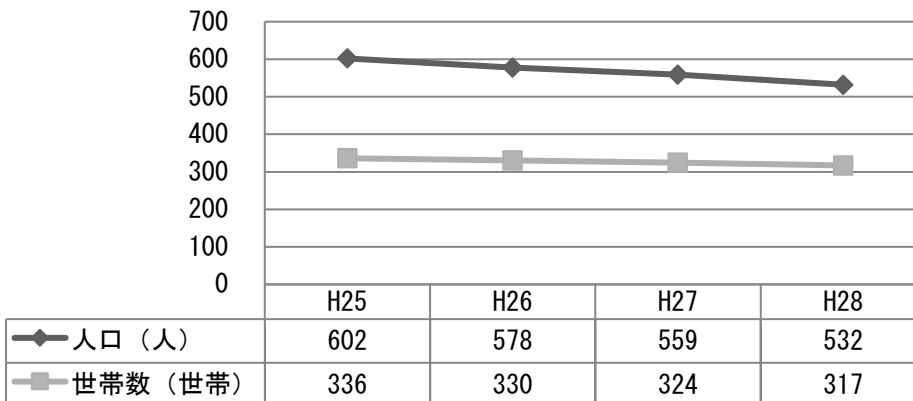
### ① 井川地区事業所数及び従業員数



※H21、H26：経済センサス基礎調査（各年7月1日現在）  
 H24：経済センサス活動調査（平成24年2月1日現在）

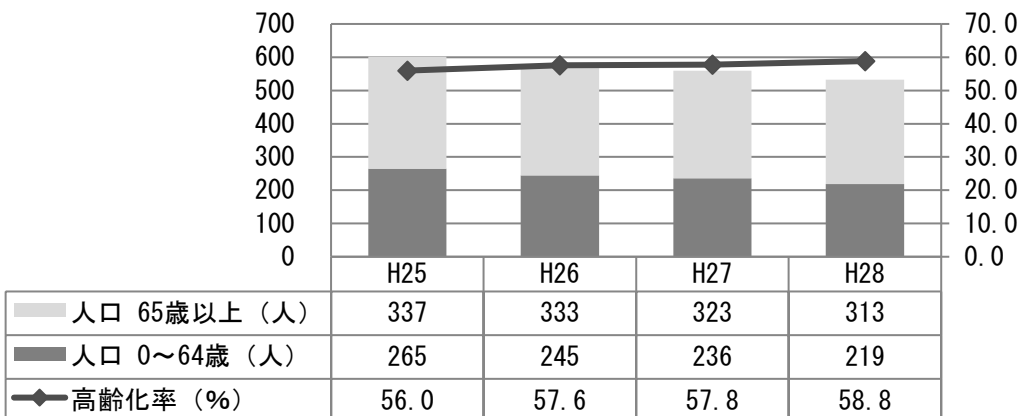
## 12) 地域を取り巻く環境

### ① 井川地区の人口及び世帯数



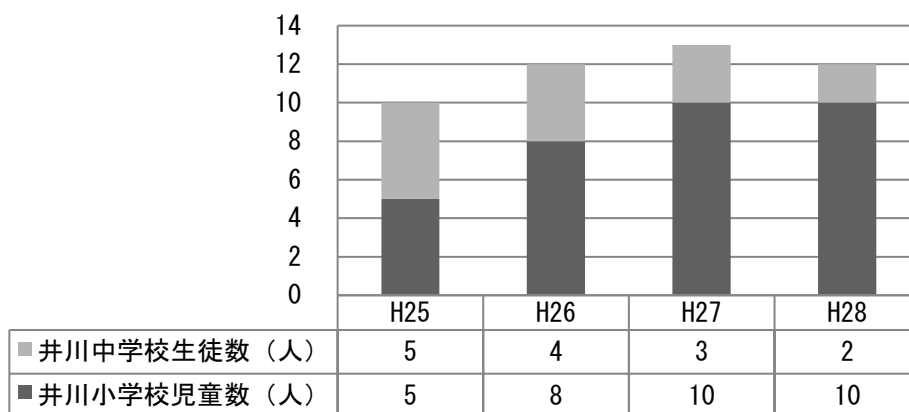
※各年9月30日現在

### ② 井川地区の高齢化率



※各年9月30日現在

② 静岡市立井川小学校・中学校 児童・生徒数



※各年5月1日現在

## 6 実行計画 総合分析

静岡市南アルプスユネスコエコパーク事業の推進にあたっては、静岡市環境政策連携統括会議において、関係局等の連携の確保及び総合的な調整を行います。

同会議の関係局が所管している事業について、各局が平成28年度の取組を分析し、それを総合的に分析した結果（課題の抽出とその改善策・今後の方向性）を以下のとおり示します。

平成 28 年度の取組	P 3～32「平成 28 年度の取組内容」のとおりに
-------------	----------------------------

評価指標の状況	<p>10 項目のうち、7 項目が目標を達成し、3 項目が達成していない状況である。（詳細は、P 2「評価指標の状況」のとおりに）</p> <p>なお、平成 27 年度に実行計画を策定したため、評価指標の基準年度は、10 項目のうち 8 項目が平成 27 年度、2 項目が 25 年度となっている。</p> <p>また、市政アンケートモニターにより 4 年に 1 度把握する指標が 5 項目となっているため、それらの項目に記載している進捗状況は参考数値となる。</p>
---------	--

基本方針の柱	計画の実行に係る課題	改善策・今後の方向性
1 自然環境の保全	<p>① 中央新幹線建設工事の実施に伴い、自然環境や地域住民の生活への影響が懸念されている。</p> <p>② 南アルプスの自然の象徴である高山植物と、そこに生息する特徴的な希少種であるライチョウの保護を拡大するために、市民への周知・啓発及び市民が参加できる施策の展開が必要である。</p> <p>③ 静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の適正な運用が必要である。</p>	<p>① 継続調査が必要なものについてはモニタリングを行い、工事最盛期を中心に再度環境調査を実施する。これらの環境調査の結果をもとに、必要に応じて事業者に対し指導・要望等を行う。</p> <p>② 市内高校生を対象とした「高山植物保護セミナー」を継続的に実施するとともに、登山者自らがライチョウの分布調査等に協力できるライチョウサポーター制度の運用を継続する。</p> <p>③ 継続的な条例の普及啓発、林道パトロール、林道東俣線のゲート管理を実施する。</p>
2 調査と教育	<p>① 教育教材の活用と南アルプスユネスコエコパークに関する理解度の把握が必要である。</p> <p>② 自然体験活動指導者育成講座に参加しやすい講座に見直すことが必要である。</p>	<p>① 井川自然の家と連携し、利用学校を中心に教育教材を活用した学習を実施するとともに、学校の授業等での活用を促す。</p> <p>② 教育プログラムを充実させるとともに、先輩指導員から学習を受ける場を設</p>



		定する。
<b>3 地域の持続的な発展</b>	<p>① 静岡型体験観光の推進においては、市場の動向や旅行者のニーズに即した観光商品の充実が必要である。</p> <p>② オクシズ在来作物の認知度の向上や担い手の確保が必要である。</p> <p>③ 道路トンネル補修等の工事実施に伴い、登山・観光シーズンや降雪期を避け交通規制を行う必要がある、地元調整、事業周知等が課題となる。</p> <p>④ 千代田消防署しずはた出張所山岳救助隊との連携の強化や南アルプスの森林限界以下登山道におけるヘリコプター活動拠点の整備が必要である。</p>	<p>① 充実させるべき観光商品を分析し、それらのプロモーションに重点的に取り組む。</p> <p>② オクシズ在来作物の高付加価値化のためのブランディングや担い手となる団体等を設立し、都市住民との交流の活性化や継続的な活用を図る。</p> <p>③ 設計時から工事工程日数を算出し、限られた工期内に竣工できるよう、事業調整を図るとともに、静岡市道路通行規制情報「しずみち info」等の情報発信ツールを今まで以上に活用する。</p> <p>④ 山岳救助訓練を定期的に行い、技術向上に努めるとともに、活動拠点の調査を定期的に行い、地権者に対し、可能な範囲でヘリコプター活動拠点の整備、また新規整備について協力要請する。</p>
<b>4 理念の継承と管理運営体制の構築</b>	<p>① 海外に向けた積極的な情報発信を展開するとともに、受入に係る国際対応の促進が必要である。</p>	<p>① 現地での説明会や教育旅行の受入等の際し、ニーズや満足度を聴取し、充実させるべき観光商品を分析し、それらのプロモーションに重点的に取り組む。また、受入に係る課題や対応策を整理する。</p>

(参考) 各事業の平成28年度事業計画及び実施結果

No.	事業名	基本方針の柱	平成28年度事業計画	事業実施結果	所管課	頁
1	移住希望者向け情報発信事業	3	・移住支援センター運営 ・首都圏プロモーション ・HP運営 ・パンフレット配布	計画どおり実施	企画課	20
2	井川湖渡船運航業務	3	・渡船運行 ・関係施設の維持管理	計画どおり実施	井川支所	27
3	井川湖畔遊歩道草刈業務 (遊歩道維持管理業務)		・遊歩道維持管理 (除草作業：3回/年、 作業面積：2,700㎡/年)	計画どおり実施	井川支所	26
4	葵区魅力づくり事業 ー地域住民の自立促進事業ー	3	・地域住民との打ち合わせ ・事業の協働実施	計画どおり実施	葵区役所 地域総務課	17
5	静岡型体験観光推進事業	2, 3, 4	・教育旅行誘致活動 ・体験プログラムの開発	計画どおり実施	MICE・国際課	13
6	海外プロモーション事業	4	・現地プロモーション ・情報発信	計画どおり実施	MICE・国際課	31
7	井川地域における食文化調査事業	2, 3	・活用方法の検討 ・調査結果の公表	計画どおり実施	文化財課	15
8	井川地域の雑穀文化保存活用事業	2, 3	・交流事業の実施	計画どおり実施	文化財課	15
9	中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業	3	・まちづくりモデルの推進	計画どおり実施	環境創造課	23
10	南アルプス環境調査	1	・工事前現況把握調査	計画どおり実施	環境創造課	6
11	静岡市森林環境アドプト事業	3	・井川地域における森林整備計画の検討、準備	計画どおり実施	環境創造課	23
12	静岡市次世代エネルギーパーク	2	・普及啓発、活用推進	計画どおり実施	環境創造課	14
13	高山植物保護事業	1, 2	・防鹿柵設置、維持管理 ・担い手育成（高山植物保護セミナー開催）	計画どおり実施	環境創造課	4
14	ライチョウ保護事業	1, 2	・生息状況把握調査 ・普及啓発事業の実施 ・ライチョウサポーター制度の創設	計画どおり実施	環境創造課	5
15	普及啓発事業	3, 4	・構成市町村連携による情報発信 ・市内、県内における情報発信 ・海外への情報発信 ・首都圏での情報発信	計画どおり実施	環境創造課	21
16	静岡市MORI ガールプロジェクト	3, 4	・HPによる情報発信 ・井川地域の魅力発見 ・HPによるイメージソングの配信	計画どおり実施	環境創造課	19
17	南アルプス教育推進支援事業	2, 4	・教育教材貸出 ・利用手引きの作成 ・教員等研修の実施	計画どおり実施	環境創造課	9
18	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	1	・市HPの維持管理 ・標識の維持管理	計画どおり実施	治山林道課	3
19	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理	1, 3	・林道管理 ・ゲート管理	計画どおり実施	治山林道課	7
20	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターの整備・活用	2, 3	・情報発信 ・モニターツアー実施	計画どおり実施	中山間地振興課	14

21	南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業	2, 3	・まち歩きツアー開催	計画どおり実施	中山間地振興課	9
22	南アルプス周辺登山道整備事業	3	・吊り橋測量、整備 ・新規登山道調査	計画どおり実施	中山間地振興課	20
23	中山間地移住促進事業	3	・空き家情報の発信 ・移住者支援 ・受入地域支援	計画どおり実施	中山間地振興課	25
24	野生鳥獣被害対策事業	3	・農林業者等への助成 ・有害鳥獣捕獲等	計画どおり実施	中山間地振興課	23
25	オクシズ在来作物活用事業	3	・普及啓発 ・イベント実施	計画どおり実施	中山間地振興課	18
26	地域おこし協力隊配置事業	3	・協力隊による地域おこし ・補助金（活動支援事業、住宅改修事業）交付	・協力隊募集 ・協力隊用住宅修繕 ・2名配置	中山間地振興課	18
27	おらんとこのこれ一番事業	3	・地域の活動支援	計画どおり実施	中山間地振興課	18
28	林業担い手育成対策事業	3	・補助金等の交付	計画どおり実施	中山間地振興課	24
29	井川地区自主運行バス運行事業	3	・自主運行バスの運行（365日稼働）	計画どおり実施	交通政策課	28
30	静岡市道路休憩施設	3	・広報活動	計画どおり実施	道路計画課	26
31	道路トンネル補修事業	3	・補修工事 ・調査、設計	計画どおり実施 ・補修工事 ・定期点検	道路保全課	28
32	道路自然災害防除事業（法面）	3	・測量、設計 ・用地測量 ・用地買収、補償 ・対策工事	計画どおり実施 ・対策工事	道路保全課	29
33	橋脚のある橋りょうの耐震化	3	—	事業実績なし	道路保全課	29
34	千代田消防署井川出張所維持管理	3	・消防体制の維持	計画どおり実施	消防総務課	29
35	山岳救助体制の充実	3	・山岳救助体制の充実	計画どおり実施	消防総務課	29
36	ヘリコプター南アルプス活動拠点指定	3	・登山調査及び上空調査 ・活動拠点資料作成・配布	計画どおり実施	航空課	30
37	自然体験活動指導者育成講座	2, 4	・指導者育成	計画どおり実施	教育総務課	10
38	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	2, 3, 4	・主催事業の実施	計画どおり実施	教育総務課	10
39	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供	2, 4	・自然体験活動の提供	計画どおり実施	教育総務課	13
40	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動	2, 3	・PR活動の実施	計画どおり実施	教育総務課	14
42	社会科副読本との連携	2, 4	・副読本の改訂、配布	計画どおり実施	学校教育課	13

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）  
実行計画 年次報告書（平成 28 年度）

発行年月 平成 29 年 11 月  
発 行 静岡市環境局環境創造課  
静岡市葵区追手町 5 番 1 号  
電話 054-221-1357 FAX 054-221-1492  
E-mail [kankyousouzou@city.shizuoka.lg.jp](mailto:kankyousouzou@city.shizuoka.lg.jp)  
URL [http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000166.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000166.html)